

|   |   |      |   |  |                                      |  |
|---|---|------|---|--|--------------------------------------|--|
| 大分工業高等専門学校  |   | 開講年度 | 平成30年度 (2018年度)                         | 授業科目   | 保健・体育                                |  |
| 科目基礎情報  |   |      |   |  |                                      |  |
| 科目番号  | 30E208  |      | 科目区分                                    | 一般 / 必修  |                                      |  |
| 授業形態  | 実技  |      | 単位の種別と単位数                               | 履修単位: 2  |                                      |  |
| 開設学科  | 電気電子工学科   |      | 対象学年                                    | 2  |                                      |  |
| 開設期   | 通年  |      | 週時間数                                    | 2  |                                      |  |
| 教科書/教材  | (教科書) 高石昌弘, 小沢治夫(ほか), 「現代保健体育」, 大修館書店 / (参考図書) 秋山兼範, 麻生紘二(ほか), 「最新スポーツルール」, 大修館書店.  |      |   |  |                                      |  |
| 担当教員  | 大庭 恵一   |      |   |  |                                      |  |
| 到達目標  |   |      |   |  |                                      |  |
| (1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録)<br>(2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム)<br>(3) 保健学習で行った内容を正確に理解する。(定期試験) |   |      |   |  |                                      |  |
| ルーブリック  |   |      |   |  |                                      |  |
|   | 理想的な到達レベルの目安  |      | 標準的な到達レベルの目安                            |  | 未到達レベルの目安                            |  |
| 評価項目1   | あらゆる運動に必要な基礎体力を身につけている  |      | 運動をある程度行うための基礎体力を身につけている                |  | 運動を行うための基礎体力がみについていない                |  |
| 評価項目2   | 体育実技で行うスポーツのルールを十分に理解し, 積極的にゲームを楽しむことができる   |      | 体育実技で行うスポーツのルールをある程度理解して, ゲームを楽しむことができる |  | 体育実技で行うスポーツのルールを理解できず, ゲームを行うことができない |  |
| 評価項目3   | 保健学習で行った内容を十分に理解できる   |      | 保健学習で行った内容をある程度理解できる                    |  | 保健学習で行った内容をほとんど理解できていない              |  |
| 学科の到達目標項目との関係   |   |      |   |  |                                      |  |
| 学習・教育到達度目標 (A1) 学習・教育到達度目標 (B1)   |   |      |   |  |                                      |  |
| 教育方法等   |   |      |   |  |                                      |  |
| 概要  | スポーツテスト(運動能力テスト, 体力診断テスト)を実施して, 個人の体力を把握させる。スポーツテストに含まれる運動技能を向上させ, 個人技能(陸上競技, 水泳), 対人的技能(ソフトテニス, バドミントン, 柔道), 集団的技能(バレーボール, サッカー, バスケットボール)における全体技能(ゲーム)が遂行可能となるように行う。保健学習では, 「現代社会と健康」および「生涯を通じる健康」について学習する。<br>(科目情報)<br>前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間43.5時間<br>関連科目 保健・体育(1年, 3年) |      |   |  |                                      |  |
| 授業の進め方・方法   | 達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する。<br>総合評価 = 0.8 × (授業で行った各種目の実技点の平均) + 0.2 × (保健テスト点)<br>総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点を行う。<br>総合評価60点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。   |      |   |  |                                      |  |
| 注意点   | (履修上の注意) 授業は, 学校指定の体操服・運動靴・体育館シューズで行う。<br>(自学上の注意) 授業で行うスポーツのルールを調べておく。   |      |   |  |                                      |  |
| 評価  |   |      |   |  |                                      |  |
| 授業計画  |   |      |   |  |                                      |  |
|   |   | 週    | 授業内容                                    | 週ごとの到達目標   |                                      |  |
| 前期  | 1stQ  | 1週   | バレーボール①                                 | 個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する                     |                                      |  |
|   |   | 2週   | バレーボール②                                 | 運動能力テスト(50m, 立幅跳, ハンドボール投, 持久走)を正確に実施する          |                                      |  |
|   |   | 3週   | バレーボール③                                 | 体力診断テスト(握力, 反復横跳び, 長座体前屈, 上体起こし)を正確に実施する         |                                      |  |
|   |   | 4週   | スポーツテスト                                 | 個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する                     |                                      |  |
|   |   | 5週   | スポーツテスト                                 | 個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法を習得する                     |                                      |  |
|   |   | 6週   | ソフトボール(男子)①<br>ソフトテニス(女子)①              | ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。<br>ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。 |                                      |  |
|   |   | 7週   | ソフトボール(男子)②<br>ソフトテニス(女子)②              | ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。<br>ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。 |                                      |  |
|   |   | 8週   | ソフトボール(男子)③<br>ソフトテニス(女子)③              | ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。<br>ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。 |                                      |  |
|   | 2ndQ  | 9週   | (前期中間試験)                                |  |                                      |  |
|   |   | 10週  | ソフトボール(男子)④<br>ソフトテニス(女子)④              | ゲームによる技能の向上と審判法を習得する。<br>ストローク, サーブなどの個人技能を習得する。 |                                      |  |
|   |   | 11週  | 水泳①                                     | クロール, 平泳ぎを習得する。                                  |                                      |  |
|   |   | 12週  | 水泳②                                     | クロール, 平泳ぎを習得する。                                  |                                      |  |
|   |   | 13週  | 保健①                                     | 「生涯を通じる健康」について学習する。                              |                                      |  |
|   |   | 14週  | 保健②                                     | 「生涯を通じる健康」について学習する。                              |                                      |  |
|   |   | 15週  | 前期末試験                                   | 筆記による保健のテストを行う                                   |                                      |  |
|   |   | 16週  | 前期末試験の解答と解説                             | 保健のテストの解答と解説を行う                                  |                                      |  |
| 後期  | 3rdQ  | 1週   | 柔道①                                     | 個人技能の習得後, 約束練習や簡易試合を行い, ルール審判法を習得する。             |                                      |  |
|   |   | 2週   | 柔道②                                     | 個人技能の習得後, 約束練習や簡易試合を行い, ルール審判法を習得する。             |                                      |  |

|      |     |                          |  |
|------|-----|--------------------------|--|
| 4thQ | 3週  | 柔道③                      | 個人技能の習得後、約束練習や簡易試合を行い、ルール審判法を習得する。               |
|      | 4週  | 陸上競技（ハードル①）              | ハードルの基本技能を習得し、50mハードルのタイムを測定する。女子はハードルを低くして指導する。 |
|      | 5週  | 陸上競技（ハードル②）              | ハードルの基本技能を習得し、50mハードルのタイムを測定する。女子はハードルを低くして指導する。 |
|      | 6週  | サッカー①（男子）<br>バドミントン①（女子） | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 7週  | サッカー②（男子）<br>バドミントン②（女子） | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 8週  | サッカー③（男子）<br>バドミントン③（女子） | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 9週  | （後期中間試験）                 |  |
|      | 10週 | バスケットボール①                | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 11週 | バスケットボール②                | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 12週 | バスケットボール③                | 個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法を習得する                      |
|      | 13週 | 保健③                      | 「現代社会と健康」について学習する。                               |
|      | 14週 | 保健④                      | 「現代社会と健康」について学習する。                               |
|      | 15週 | 学年末試験                    | 筆記による保健のテストを行う                                   |
|      | 16週 | 学年末試験の解答と解説              | 保健のテストの解答と解説を行う                                  |

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類      | 分野          | 学習内容   | 学習内容の到達目標                       | 到達レベル | 授業週 |
|---------|-------------|--------|---------------------------------|-------|-----|
| 分野横断的能力 | 態度・志向性(人間力) | 態度・志向性 | 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。 | 3     |     |
|         |             |        | 目標の実現に向けて計画ができる。                | 3     |     |
|         |             |        | 目標の実現に向けて自らを律して行動できる。           | 3     |     |
|         |             |        | 日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。   | 3     |     |
|         |             |        | 社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。 | 3     |     |

### 評価割合

|         | 試験 | 実技 | 合計  |
|---------|----|----|-----|
| 総合評価割合  | 20 | 80 | 100 |
| 基礎的能力   | 20 | 80 | 100 |
| 専門的能力   | 0  | 0  | 0   |
| 分野横断的能力 | 0  | 0  | 0   |